

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ファロスF(株)西伯農場 妊娠豚舎B	階数	地上1F
建設地	鳥取県西伯郡南部町	構造	木造
用途地域	都市計画区域外	平均居住人員	0人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2018年8月24日
敷地面積	55,414 m ²	作成者	橋爪宏幸
建築面積	2,094 m ²	確認日	2018年8月31日
延床面積	2,094 m ²	確認者	橋爪宏幸



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合 本計画建物は居室を有さない畜舎(豚舎)のため、一般の建物より環境負荷の小さい建物となっている。また、防疫の観点から基本的には外部との関わりが少ないものの、出来る限り、自然調和したものとなるように配慮している。		その他 特になし
Q1 室内環境 畜舎(豚舎)であるため特別な配慮は講じない。	Q2 サービス性能 畜舎(豚舎)であるため特別な配慮は講じない。	Q3 室外環境(敷地内) 既存森林を残しつつ、造成法面の緑化を図り、自然に調和する色彩の屋根を採用している。
LR1 エネルギー 畜舎(豚舎)であるため特別な配慮は講じない。 照明はLEDを使用。	LR2 資源・マテリアル エアコン等の設置はない。	LR3 敷地外環境 臭気が直接敷地外へ出ないよう排気方向に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される